

# 消防かわら版

ストーブによる火災にご注意ください

だんだんと寒くなり、ストーブ（石油ストーブ、電気ストーブ）が主に活躍する季節が近づいてきました。

毎年ストーブは火災の原因において、たばこに次いで多く発生しています。

さらにストーブ火災のほとんどが使用者の不注意によって起こっているものです。

ちょっとした心構えから、ストーブ火災は防ぐことができます。

油断をせず、家族のためにも、ご自身のためにも、下記のようなストーブ火災の対策を行って、火災の予防に努めましょう。



● 器具を点検する。

プラグ、コード、ホース等の異常から出火といった火災も発生しています。

定期的な点検し、異常がある場合は使用を中止して販売店等に相談しましょう。

● 周りは常に整理整頓する。

衣類や雑誌等の可燃物が、ストーブ周辺に置いてあることで、ふとした時に接触して出火する恐れがあります。

洗濯物等をストーブの上で干さないでください。

● スプレー等を使わない。

化粧品や塗料等のスプレー缶、引火性の溶剤を使った接着剤等は引火や爆発の危険性があるのでストーブの近くで使用してはいけません。

● 給油時は必ず火を消す。

石油ストーブは火を点けたまま給油すると、こぼれた灯油に燃え移る恐れがあります。必ず消火を確認してから行いましょう。

また、寝る時や、その場を離れる時はスイッチを切り、コンセントからプラグを抜くようにしましょう。

## 火災発生件数と出火原因について

令和6年における、登別市の火災件数と出火原因については、次のとおり消防年報より抜粋いたしました。火災発生件数は徐々に減少しておりますが、原因についてはストーブや放火の割合が多く、日頃から防火の意識や注意が必要ということがわかる内容となっております。

■火災件数の推移

	各年12月31日現在 単位：件										
	総数	火元建物						林野	車両	船舶	その他
		計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	爆発				
令和6年	9	3	2	-	-	1	-	-	2	-	4
5年	7	3	-	-	1	2	-	-	2	-	2
4年	10	3	1	1	-	1	-	-	3	-	4
3年	20	12	4	-	1	6	1	-	4	-	4
2年	10	5	2	-	1	2	-	-	2	-	3

資料：消防本部

■原因別火災件数の推移

	各年12月31日現在 単位：件												
	総数	たばこ	こんろ	ストーブ	ガスバーナー	電気機器	電動工具	火遊び	放火	放火の疑い	その他	不明調査中	
令和6年	9	1	-	-	-	-	1	-	2	-	-	5	
5年	7	-	1	1	-	1	-	-	-	-	2	2	
4年	10	-	-	1	2	-	1	-	2	-	-	4	
3年	20	1	1	2	-	2	-	-	2	-	6	6	
2年	10	1	-	2	-	-	-	-	1	-	2	4	

資料：消防本部



# 消防団員募集中



～ あなたの力を消防団で発揮してみませんか? ～

## 消防団とは



「自分たちの街は自分たちで守る」というボランティア精神に基づき、私たちの街の安心と安全を守るため、地域住民で構成されている組織です。

それぞれの分団が地域に密着した活動を行っています。

## 女性や学生も



消防団員は性別や職業を問わず心身ともに健康な18歳以上の市内に居住・勤務しているかたであれば任用資格があります。

あなたの周りの友人や職場の同僚など身近な人が消防団で活躍しています。

## 消防団員募集中



消防団員は「非常勤特別職の地方公務員」として必要な被服等は貸与されます。また日々の労に報うために団員報酬や費用弁償などが支給されます。

地域防災の要・消防団に入団しませんか?興味のある方はお近くの消防団員または消防署・支署までお問い合わせください。

### 住宅防火 命を守る7つのポイント

#### 3つの習慣

- ・寝たばこは、絶対にやめましょう。
- ・ストーブは、燃えやすい物から離れた位置で使いましょう。
- ・ガスコンロ等のそばを離れるときは必ず火を消しましょう。

#### 4つの対策

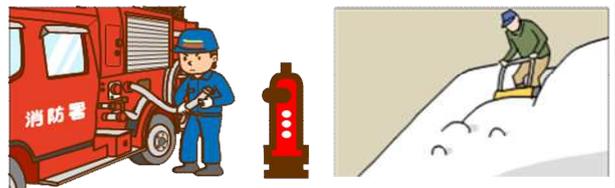
- ・逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置しましょう。
- ・寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用しましょう。
- ・火災を小さいうちに消すために住宅用消火器等を設置しましょう。
- ・お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制を作りましょう。

### ～消防からの除雪時のお願い～

これからの時期は、積雪が多くなり屋根の雪下ろし・自宅周辺の除雪をする機会が増えてきます。

消火栓・防火水槽の周りに雪が集められていると、火災で消防水利として使用する際に、容易に使用できず、消火活動が遅れる可能性があります。

自宅付近にある消火栓・防火水槽は、自宅や近所を守るためにあります。有事の際、地域を守るためにも、雪や車両の停車で消防水利周辺は塞がないようご協力お願いします。



火事と救急は119番

消防署(本署) 予防担当・84-6088